

国内で接種可能な新型コロナワクチン_12歳以上

<一般的な事項> (作成日：2022年10月13日現在)

| | | 特例臨時接種で用いられるワクチン | | | | | |
|--|---|---|---|---|---|--|--|
| 製造販売業者 | | ファイザー | ファイザー | ファイザー | モデルナ | モデルナ | 武田/ノババックス |
| 販売名 | | コミナティ筋注 (1価：起源株) (紫キャップ) | コミナティRTU筋注 (2価：起源株/オミクロン株BA.1) (グレーキャップ) | コミナティRTU筋注 (2価：起源株/オミクロン株BA.4-5) (グレーキャップ) | スパイクバックス筋注 (1価：起源株) (赤キャップ) | スパイクバックス筋注 (2価：起源株/オミクロン株BA.1) (青キャップ) | ヌバキソビッド筋注 |
| 承認年月 | | 2021年2月 | 2022年9月 | 2022年10月 | 2021年5月 | 2022年9月 | 2022年4月 (接種開始 2022年5月) |
| 種類 | | mRNAワクチン | mRNAワクチン | mRNAワクチン | mRNAワクチン | mRNAワクチン | 組換えタンパクワクチン (アジュバントを含む) |
| 対象年齢(注) | | 12歳以上 3回目接種は12歳以上 4回目接種は60歳以上 18歳以上の ・基礎疾患がある方等** ・医療従事者等 | 12歳以上 (追加接種としてのみ：作成日現在) | 12歳以上 (追加接種としてのみ：作成日現在) | 12歳以上 3回目接種は18歳以上 4回目接種は60歳以上 18歳以上の ・基礎疾患がある方等** ・医療従事者等 | 18歳以上 (追加接種としてのみ：作成日現在) | 12歳以上 3回目接種は18歳以上 |
| 接種不相当者 (添付文書記載 一般的共通事項(注釈※1ほか)) | | — | — | — | — | — | — |
| 接種方法 | | | | | | | |
| 1回接種量 | | 希釈後 0.3 mL | 希釈なし 0.3 mL | 希釈なし 0.3 mL | 希釈なし 0.5 mL (3・4回目は希釈なし0.25 mL) | (追加) 希釈なし 0.5 mL | 希釈なし 0.5 mL |
| 希釈に使用する生理食塩液量 | | 1.8 mL | | | | | |
| 1バイアルの含有量 | | 6回分 | 6回分 | 6回分 | (初回) 10回分 (追加) 15回分以上 | (追加) 5回分 | 10回分 |
| 1回接種量中の有効成分量 (mRNAワクチン参考) | | 30 µg | 起源株 15 µg + オミクロン株BA.1 15 µg | 起源株 15 µg + オミクロン株BA.4-5 15 µg | 100 µg (0.25 mLの場合 50 µg) | (追加) 起源株 25 µg + オミクロン株BA.1 25 µg | |
| 「初回接種」接種回数 | | 2回 | — | — | 2回 | — | 2回 |
| 接種間隔(*) | | 21日 | — | — | 28日 | — | 21日 |
| 上記接種間隔(*)を超えて 接種間隔が空いた場合の対応 | | 1回目の接種から上記の標準の接種 間隔を超えた場合は、できるだけ早 期に2回目を接種 | — | — | 1回目の接種から上記の標準の接種 間隔を超えた場合は、できるだけ早 期に2回目を接種 | — | 1回目の接種から上記の標準の接種 間隔を超えた場合は、できるだけ早 期に2回目を接種 |
| 他のワクチンとの接種間隔 | | | | | | | |
| インフルエンザワクチンとの同時接種 | | インフルエンザワクチンとの間隔の規定が廃止され同時接種可能(作成日現在) | | | | | |
| インフルエンザワクチン以外の他のワクチンとの同時接種 | | インフルエンザワクチン以外のワクチンの同時接種不可(作成日現在)※2 | | | | | |
| インフルエンザワクチン以外の他のワクチンとの接種間隔 | | 前後13日以上あける | 前後13日以上あける | 前後13日以上あける | 前後13日以上あける | 前後13日以上あける | 前後13日以上あける |
| 適応【回数別】 | | | | | | | |
| 1回目：「初回接種」1回目 | | ○ | — | — | ○ | — | ○ |
| 2回目：「初回接種」2回目 | | ○ | — | — | ○ | — | ○ |
| 3回目：「第一期追加接種」(注) | 「初回接種」終了後5か月以上経過後 「初回接種」と異なる種類のワクチン接種可 | ○ 12歳以上 | — | — | ○ 18歳以上 | — | ○ 18歳以上 初回接種終了後6か月以上経過後 |
| 4回目：「第二期追加接種」(注) | 「第一期追加接種」終了後5か月以上経過後 「初回接種」と異なる種類のワクチン接種可 | ○ 60歳以上 および 18歳以上の ・基礎疾患がある方等** ・医療従事者等 | — | — | ○ 60歳以上 および 18歳以上の ・基礎疾患がある方等** ・医療従事者等 | — | × (作成日現在) |
| 「令和4年秋開始接種」(注) [オミクロン株対応2価ワクチン接 種] | 「初回接種」、「第一期追加接種」、「第二期追 加接種」のうち最後に受けたものの終了後5か月 以上経過後 | — | ○ 12歳以上 | ○ 12歳以上 | — | ○ 18歳以上 | × (作成日現在) |

注 詳細は添付文書及び「新型コロナウィルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き」をご参照ください。

国内で接種可能な新型コロナワクチン_12歳以上

<保存管理・調製> (作成日：2022年10月13日現在)

| | | 特例臨時接種で用いられるワクチン | | | | | |
|----------------|-----------------------|---|--|--|---|---|---------------------------------|
| 製造販売業者 | | ファイザー | ファイザー | ファイザー | モデルナ | モデルナ | 武田/ノババックス |
| 販売名 | | コミナティ筋注 (1価：起源株) | コミナティRTU筋注 (2価：起源株/オミクロン株BA.1) | コミナティRTU筋注 (2価：起源株/オミクロン株BA.4-5) | スパイクバックス筋注 (1価：起源株) | スパイクバックス筋注 (2価：起源株/オミクロン株BA.1) | ヌバキソビッド筋注 |
| 保存条件・期間 | 温度 | | | | | | |
| | -90～-60℃ (-75℃対応型冷凍庫) | 15か月間 ※3 2022年8月19日延長 14日間 | 12か月間 | 12か月間 | × -50℃以下で保管しない | × -50℃以下で保管しない | × 凍結を避ける |
| | -25～-15℃ (-20℃対応型冷凍庫) | 1度だけ-90～-60℃に戻して 保存可能 | × 保存不可 | × 保存不可 | 9か月間 ※3 2021年11月12日延長 | 9か月間 | × 凍結を避ける |
| | 2～8℃ (冷蔵庫) | 1か月間 (31日間) | 10週間 | 10週間 | 30日間 | 30日間 | 9か月間 |
| | 8～25℃ (室温) | — | — | — | 最長24時間 (穿刺前) | 最長24時間 (穿刺前) | — |
| 備考 | | ・冷蔵庫で解凍する場合は、解凍及び希釈を1か月以内に行う。 ・室温で解凍する場合は、解凍及び希釈を2時間以内に行う。 ・希釈後室温で6時間以内 | 室温では24時間以内で使用 1回穿刺後は2～30℃保存で12時間以内 | 室温では24時間以内で使用 1回穿刺後は2～30℃保存で12時間以内 | (一度針を刺したもので以降) 2～25℃保存で12時間 | (一度針を刺したもので以降) 2～25℃保存で12時間 | (一度針を刺したもので以降) 2～25℃保存で6時間以内 |
| 保存・準備時に関する注意事項 | | 2～8℃で保存後再冷凍はしない 解凍後に再凍結しない 解凍時・希釈後も室内照明による曝露を最小限に抑える | 2～8℃で保存後再冷凍はしない 解凍後に再凍結しない 解凍時・希釈後も室内照明による曝露を最小限に抑える | 2～8℃で保存後再冷凍はしない 解凍後に再凍結しない 解凍時・希釈後も室内照明による曝露を最小限に抑える | 2～8℃で保存後再冷凍はしない 解凍後に再凍結しない 解凍後も遮光 接種の際は常温に戻して使用 (常温で15分置くなど) | 2～8℃で保存後再冷凍はしない 解凍後に再凍結しない 解凍後も遮光 接種の際は常温に戻して使用 (常温で15分置くなど) | 外箱開封後は遮光 薬液は凍結しない |
| 解凍温度・時間 | | 2～8℃：3時間 室温で解凍する場合の解凍時間は30分を目安とすること。 | 2～8℃ または 室温で解凍 (解凍時・解凍後も遮光) | 2～8℃ または 室温で解凍 (解凍時・解凍後も遮光) | 2～8℃：2時間半 15～25℃：1時間 (解凍時・解凍後も遮光) | 2～8℃：2時間半 15～25℃：1時間 (解凍時・解凍後も遮光) | |

| 備考 | **下記URL参照 ・基礎疾患を有する者 https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/uploads/220325_0098.pdf ・重症化リスクの高い基礎疾患を有する者の範囲について https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/uploads/11-19.pdf | **下記URL参照 ・基礎疾患を有する者 https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/uploads/220325_0098.pdf ・重症化リスクの高い基礎疾患を有する者の範囲について https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/uploads/11-19.pdf | **下記URL参照 ・基礎疾患を有する者 https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/uploads/220325_0098.pdf ・重症化リスクの高い基礎疾患を有する者の範囲について https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/uploads/11-19.pdf | **下記URL参照 ・基礎疾患を有する者 https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/uploads/220325_0098.pdf ・重症化リスクの高い基礎疾患を有する者の範囲について https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/uploads/11-19.pdf | **下記URL参照 ・基礎疾患を有する者 https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/uploads/220325_0098.pdf ・重症化リスクの高い基礎疾患を有する者の範囲について https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/uploads/11-19.pdf |
|----|---|---|---|---|---|
|----|---|---|---|---|---|

注 詳細は添付文書及び「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き」をご参照ください。

※1 接種不適当者 一般的共通事項

- 1 明らかな発熱を呈している者
- 2 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな者
- 3 本剤の成分に対し重度の過敏症の既往歴のある者
- 4 上記に掲げる者のほか、予防接種を行うことが不適当な状態にある者

※2 新型コロナワクチンとインフルエンザワクチンについては、間隔の規定が廃止され、同時接種が可能 (2022年7月22日開催第33回 厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会にて決定)。

なお、創傷時の破傷風トキソイド等、緊急性を要するものに関しては例外として2週間を空けずに接種可能。

※3 「ファイザー社ワクチン及びモデルナ社ワクチンの有効期限の取扱いについて」(令和4年8月26日付け厚生労働省健康局健康課予防接種担当参事官室事務連絡)をご参照ください。

※4 アストラゼネカ社新型コロナワクチン(は2022年9月30日をもって特例臨時接種としての接種、供給終了)。

※5 ヤンセンファーマ社新型コロナワクチンが2022年6月に薬事承認されている(臨時接種対象外)が、2022年9月12日現在未販売のため表内未掲載。

国内で接種可能な新型コロナワクチン_小児

<一般的事項>

(作成日：2022年10月13日現在)

| | | 特例臨時接種で用いられるワクチン |
|--|--|--------------------------------|
| 製造販売業者 | ファイザー | |
| 販売名 | コミナティ筋注 (5~11歳用) (オレンジキャップ) | |
| 承認年月 | 2022年1月 (接種開始 2022年2月) | |
| 種類 | mRNAワクチン | |
| 対象年齢 (注) | 5~11 歳 | |
| 接種不適当者 (添付文書記載 一般的共通事項 (注釈※1 ほか)) | — | |
| 接種方法 | 筋肉内投与 | |
| 1回接種量 | 希釈後 0.2 mL | |
| 希釈に使用する生理食塩液量 | 1.3 mL | |
| 1バイアルの含有量 | 10回分 | |
| 1回接種量中の有効成分量 (mRNAワクチン参考) | 10 µg | |
| 「初回接種」接種回数 | 2回 | |
| 接種間隔 (*) | 21日 | |
| 上記接種間隔 (*) を超えて 接種間隔が空いた場合の対応 | 1回目の接種から上記の標準の接種間隔を超えた場合は、 できるだけ早期に2回目を接種 | |
| 他のワクチンとの接種間隔 | | |
| インフルエンザワクチンとの同時接種 | インフルエンザワクチンとの間隔の規定が廃止され同時接種 可能 (作成日現在) | |
| インフルエンザワクチン以外の他のワクチンとの同時接種 | インフルエンザワクチン以外のワクチンの同時接種不可 (作成日現在) ※2 | |
| インフルエンザワクチン以外の他のワクチンとの接種間隔 | 前後13日以上あける | |
| 適応【回数別】 | | |
| 1回目：「初回接種」1回目 | ○ | |
| 2回目：「初回接種」2回目 | ○ | |
| 3回目：「第一期追加接種」 (注) | 「初回接種」終了後5か月以上経過後 「初回接種」と異なる種類のワクチン接種可 | ○ (2022年9月6日開始：初回接種と同量 0.2 mL) |
| 4回目：「第二期追加接種」 (注) | 「第一期追加接種」終了後5か月以上経過後 「初回接種」と異なる種類のワクチン接種可 | × (作成日現在) |

注 詳細は添付文書及び「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き」をご参照ください

国内で接種可能な新型コロナワクチン_小児

<保存管理・調製>

(作成日：2022年10月13日現在)

| | | 特例臨時接種で用いられるワクチン |
|----------------|---------------------|---|
| 製造販売業者 | | ファイザー |
| 販売名 | | コミナティ筋注（5～11歳用） |
| 保存条件・期間 | 温度 | 12か月間 ※3 2022年4月22日延長 |
| | -90～-60℃（-75℃対応冷凍庫） | × |
| | -25～-15℃（-20℃対応冷凍庫） | × |
| | 2～8℃（冷蔵庫） | 10週間 |
| | 8～25℃（室温） | — |
| 備考 | | 希釈後（1回穿刺後）12時間以内 |
| 保存・準備時に関する注意事項 | | 2～8℃で保存後再冷凍はしない 解凍時・希釈後も室内照明による曝露を最小限に抑える |
| 解凍温度・時間 | | 2～8℃：4時間 室温で解凍する場合の解凍時間は30分を目安とすること。 （室温解凍の場合は24時間以内かつ希釈後12時間以内に接種。一度針を刺した以降は12時間以内に使用） |
| 備考 | | 1.3 mL で希釈、接種量 毎回0.2 mL |

注 詳細は添付文書及び「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き」をご参照ください

※1 接種不適当者 一般的共通事項

- 1 明らかな発熱を呈している者
- 2 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな者
- 3 本剤の成分に対し重度の過敏症の既往歴のある者
- 4 上記に掲げる者のほか、予防接種を行うことが不適当な状態にある者

※2 新型コロナワクチンとインフルエンザワクチンについては、間隔の規定が廃止され、同時接種が可能（2022年7月22日開催第33回 厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会にて決定）

なお、創傷時の破傷風トキソイド等、緊急性を要するものに関しては例外として2週間を空けずに接種可能

※3 「ファイザー社ワクチン及びモデルナ社ワクチンの有効期限の取扱いについて」（令和4年8月26日付け厚生労働省健康局健康課予防接種担当参事官室事務連絡）をご参照ください。